

令和7年度施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策【分野】	活気にあふれ地球環境にやさしいまちづくり 【産業・環境分野】	施策	21_地球・生活環境	所管部長 取りまとめ所属	経済環境部長 環境対策課		
施策の内容	令和32(2050)年における二酸化炭素排出量実質ゼロを実現するため、市民や事業者と一体となって再生可能エネルギーや省エネルギーなどの普及を促進します。 また、本市の豊かな自然環境や快適な生活環境を守るため、自然環境保全の意識啓発や河川水質の維持・向上を図ります。						
めざす姿	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組んでいます。また身近な生活環境や自然環境を大切に、きれいで快適な街が保たれています。						
重点事業	カーボンニュートラル推進事業						
施策構成事業	環境保全啓発事業費	生活系雑排水対策事業費		公害防止対策事業費			
	環境保全対策推進事業費						
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	成果指標の実績値について、二酸化炭素排出量の削減量については、自治体排出量カルテが未更新のため集計中の状況ですが、きれいな河川数、カーボンニュートラルに取り組んでいる市民の割合についてはR9の目標達成に向けて、現状値と比較し、上昇または概ね現状維持の傾向が見られています。 また、その他施策構成事業についても、計画どおりの取組を実施しています。				
施策推進上の課題・環境変化	二酸化炭素排出量削減に向けては、各排出部門ごとの対策が不可欠であるとともに、部門共通の課題として再生可能エネルギーの導入促進が求められます。2030年に向けて法規制等により新築建築物における環境負荷の低減はある程度見込まれることから、既存建築物に対して省エネ対策等を推進する必要があります。さらに、温室効果ガス排出量の約6割が日常のライフスタイルに関係していることから、市民、事業者に対する意識啓発活動も継続的に実施していくことが求められます。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調	概ね順調					
施策推進の方向性							
方向性	拡大						
総評・今後の施策推進方針	本市の豊かな自然環境や快適な生活環境を守るため、多様な再生可能エネルギーの導入方法を市民、事業者へ提案していくとともに、国及び県の各種補助制度の周知と利用促進に積極的に取り組みます。また、既存建築物の省エネ等が進むよう、市独自の補助制度の拡大に向けた検討を進めるとともに、市民や事業者の脱炭素ライフスタイルへの転換を促す広報活動を展開していきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
地域の二酸化炭素排出量の削減率	6.9%削減 (R元)	18.1%削減 (R3)	集計中				35.6%削減
市全体の二酸化炭素排出量の削減率（平成25(2013)年度排出量基準）							
きれいな河川数	10河川 (R3)	10河川	10河川				10河川
汚れの指標となるBOD（生物化学的酸素要求量）について、環境基準に適合した市内の河川数							
カーボンニュートラルに取り組んでいる市民の割合	31.7% (R4)	30.9%	28.7%				50%
市民意識調査で「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」と回答した人の割合							

重点事業の取組内容			
事業名	カーボンニュートラル推進事業		
事業内容	令和32(2050)年における二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、電動車等の普及促進や、再生可能エネルギーの導入に対する補助を行います。		
取組工程	項目	令和6年度	
		計画	実績
	電動車等の普及促進	継続実施	継続実施
	再生可能エネルギー等の導入のための補助制度	制度拡充の検討	制度拡充の検討
令和6年度取組内容	●官民連携のEVカーシェアリング事業の継続実施により、電気自動車の普及啓発を行いました。また、家庭向けの取組としてネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）を導入する方に対し、補助金を交付しました(5件)。		
重点事業以外の取組内容			
令和6年度主な取組内容	<p>●事務事業における電気代と二酸化炭素排出量の削減のため、令和6年度は市民利用の多い公民館等10施設の照明をESCO事業により、LED照明に切り替えるとともに、公共施設の一部に実質再生可能エネルギー100%電力を導入しました。</p> <p>●環境保全啓発事業に係る取組では、市民、事業者等へ環境保全に関する啓発事業を実施するため、市民連携組織に事業補助を行い、環境保全啓発イベントを開催しました。また、環境教育及び環境学習振興のため、環境学習指導員を派遣しました。</p> <p>●環境保全対策推進事業に係る取組では、「ゼロカーボンシティいせはら」の実現に向けた普及啓発事業として、いせはら環境展やストップ温暖化展を開催しました。</p> <p>●生活系雑排水対策事業に係る取組では、生活排水による河川の水質汚濁防止することを目的として、単独処理浄化槽またはくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換促進するため、5基分の補助金を交付しました。</p> <p>●公害防止対策事業に係る主な取組の1つとして、市内全10河川において、河川水質調査を実施しており、汚れの指標となるBOD（生物化学的酸素要求量）について、市内全10河川で環境基準に適合していることを確認しました。</p>		